

# 富山と東京

松村謙三先生・書

令和5年 1月号

歴史と伝統を守り

新たな未来づくりを

東京富山県人会連合会





## 4回目の年男の海外経験記



森 弘 吉  
(株)エムダイヤ代表取締役  
(上市町出身)

私は1975年に富山県上市町で生まれました。現在は、富山市内に住居を構え、滑川市で環境機械の製造・販売を中心とした、株式会社エムダイヤという会社を経営しております。また、白山にある東京富山会館に、東京事務所を置かせていただいております。

さて、私が過去を振り返ってみて楽しいと思う事は、仕事を通じた「気づ

き」や「学び」であり、異質に触れる事には、とてもワクワクします。

コロナウイルス蔓延以前は、北は北海道から南は沖縄まで全国をかけ回り、多い時には2ヶ月に1度、仕事で海外に行っておりまして。海外出張に行けば、想定外の出来事を経験する事となります。

2016年11月にインドネシアを訪れた際に、毒蛇の代表種である、コブラ料理の屋台がありました。籠に入った生きたコブラをその場で頭を切り落とし、皮を剥いで肉を串刺し、焼いて食べる料理でした。衝撃的でした。日本的に言えば、鰻ではなくコブラのかば焼きですね。

2018年8月に中米のコスタリカを訪問した際は、郊外にあるハンバーガーショップで昼食を取りました。食べ終わって車に戻る際に、駐車場で全長1.5mはあるう、イグアナが私の前を横切つて木に登っていききました。これには大変驚きましたが、さらに現地のコーディネーターから、銃で撃ち落として食すると聞いた時には、さらに驚きました。

2019年10月までは、毎年中国の武漢を訪れておりました。2020年1月くらいから日本でもコロナウイルスの報道がありました。まさかあの近代的な都市である武漢で、このような事が起きるとは夢にも思っておりませんでした。

2022年はようやくコロナウイル

スに対する海外渡航規制も緩和され、今年に入ってから、2回海外を訪れました。約2年半ぶりの海外という事もあり、法律や習慣といった点が、大きく変化しておりました。

例えば、タイでは大麻草の使用が解禁され、町の至る所に販売店があり、観葉植物のように店先に置いてあります。コンビニエンスストアには、大麻成分入りのドリンクがあつたり、お土産屋さんにも普通に大麻入りクッキーがあつたりと、かなり衝撃的な光景でした。

一方でシンガポールでは所持も使用も厳罰であり、場合によっては極刑となります。同じアジアの国によっても、ここまで法律が異なるのは、不思議に思います。「日本の常識は、世界の非常識」という事が、海外に行くと大変多く見受けられます。

様々な経験は、自分を飛躍的に成長させてくれます。想定外な事や異質に触れる事、多くの経験を通して、自己成長に繋がりたいと思います。これから「もったいない！」をカタチに(TM)を合言葉に、環境事業を通じて、自分自身の成長だけでなく、社員と共に成長・発展出来る会社を目指します。今年、4回目の年男となります。良い1年となるよう努力するとともに、ワクワクした1年となりますように。また、皆様も素晴らしい1年となりますように。